

こちら、シティセールス広報課です！

INFORMATION

Coming Soon 「新」かすかべフードセレクション!

春日部市内には、事業者の方々がたくさんあります。市ではこれをより多くの方に知っていただくため、「かすかべフードセレクション」として平成25年から20商品を認定しています。認定商品の一部は、ふるさとかすかべ応援寄附金(ふるさと納税)へのお礼の品として全国各地の皆さんへも贈呈中。毎日の食卓から贈り物まで、幅広いシーンでご賞味ください。

現在、平成29年4月からの新規認定に向けて準備を行っています。発表をお楽しみに!



▲当パンフレットの発行部数は累計12万部

認定商品はこのマークが目印

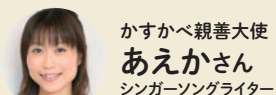


PRESENT

感想をお寄せいただいた方の中から、抽選で合計7名様にすてきなプレゼント!



春日部高校OB
北村 薫さん
作家



かすかべ親善大使
あえかさん
シンガーソングライター



サイン入り著書
「うた合わせ 北村薫の百人一首」
3名様



サイン入りCD
「あえかベスト!~World~」
4名様

- 応募受付期間…平成28年10月1日(土)~平成29年2月3日(金)必着
- 応募方法……①市公式ホームページ内専用フォームからご応募ください。
→ [かすかべプラス](#) で検索!
- ②官製はがき以下の項目をご記入の上、ご郵送ください。

□お名前・性別・年齢・ご住所・電話番号 □ご希望の商品
□本誌の入手先 □よかった記事(ページ番号) □ご意見・ご感想
《応募宛先》〒344-8577 春日部市中央六丁目2番地
春日部市役所シティセールス広報課 かすかべプラス第7号プレゼント係

*賞品の当選は発送をもって発表に代えさせていただきます。
*応募の際にご提供いただく個人情報(氏名・住所等)は、この企画以外の目的には使用しません。

▼専用フォーム



(春日部市シティセールス広報課
です。

実際の私も、地産地消料理教室に食材を提供しているトマトクラブの皆さんを取材した際に、野菜を試食させていただきましたのですが、そのあまりのおいしさに感激しました。取材をして感じたトマトクラブの皆さんの明るさ、たくましさや、「おいしい野菜を作りたい!」というまっすぐな気持ち、甘くみずみずしく育った野菜に反映されているようでした。

食の楽しみ方は人それぞれだと思えます。でも、ただの生活の一部になっていて、普段は改めて食について考える機会が少ないかもしれません。皆さまにとってこの冊子を読むことが、春日部市にある「おいしい!」に気付くきっかけとなっていたらうれしいです。

EVENT

11月は春日部のまちが音楽に包まれます

11/3 (木・祝) ブラス・ジャンボリーinかすかべ

会場:ふれあいキューブ / 主催:春日部市

11/26 (土) わがまちの音楽家たち

※要整理券
会場:春日部市民文化会館大ホール / 主催:春日部市



11/11 (火) 30 (水) まちかどコンサート

会場:商店など市内各所 / 料金:会場ごとに異なる / 主催:まちかどコンサート実行委員会

11/5 (土) JazzDayかすかべ2016秋

会場:ふれあいキューブ / 主催:ジャズデイかすかべ実行委員会

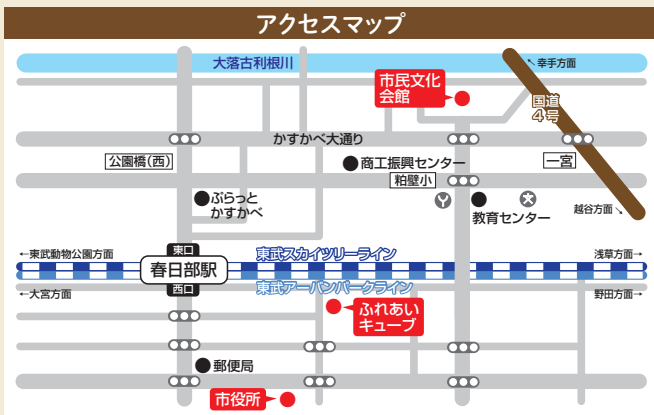
11/6 (日) 27 (日) ファミリーコンサート

会場:エンゼルドーム / 主催:エンゼルドーム



11/27 (日) 平和コンサート

※要整理券
会場:春日部市民文化会館小ホール / 主催:春日部市



READERS VOICE

読者からの声を紹介!

“これでわかった! 春日部がスポーツに強い理由”と題した「スポーツ」をテーマとした前号のかすかべ+第6号。たくさんの方から声をお寄せいただきました。ありがとうございます!

春日部で育て、春日部の皆さんが活躍する事がとてもうれしいです。春日部大好き♡ 自慢できるまちです。

市内在住 女性

「春日部は本当にスポーツのまちなんだなあ」と思いました。私はスポーツが苦手なので、春日部で育てたら…? 子どもさんたちの成長が楽しみです!

市外在住 女性

編集後記

今回のテーマは、「地域に根づいた自慢の食!」ということで、春日部市ならではの食材や、食を通じて人と人がつながっている様子に注目し、取材をしてきました。

食べ物には必ず作り手があります。野菜を作る農家さんだったり、栄養バランスを考えて給食を作る栄養士さんだったり、地域の人のために何年もパンを作り続けるパン屋さんだったり。今回、多くの作り手さんを取材してきましたが、それぞれ作るものは異なっていますが、食べる人のことを真剣に考え、思いを込めて作っているところは、どの方にも共通していることでした。そのひとつひとつの思いがあるからこそ、私たちは日々おいしい食事ができているのだと思います。